



開催報告

平成21年9月24日（木） 「第7回無細胞科学松山国際シンポジウム」

初日は「第7回無細胞科学松山国際シンポジウム」と題して、松山全日空ホテルを会場に、無細胞タンパク質合成技術の応用分野に焦点を合わせたシンポジウムを行いました。国内をはじめ、アメリカ、イギリス、オーストラリアからタンパク質研究の第一線の講師を招いて、ヒト病原ウィルスの研究やマラリアワクチン開発の研究の現状と展望などについてご講演いただきました。大学・企業の研究者、大学院生など約140人が参加して活発な質疑応答も行われ、有意義な会議となりました。



平成21年9月25日（金） 「企業向けセミナー」

2日目は地元企業のみなさんに、遠藤教授の開発した無細胞タンパク質合成技術をより知っていただくため、企業向けセミナーを本学総合情報メディアセンターで開催しました。講演は当センターの戸澤譲教授をはじめ、本学プロテオ医学研究センターの能勢真人教授、南予水産研究センターの三浦猛教授と、愛媛県農林水産研究所農業研究部作物育種室の栗坂信之室長が務め、県内企業や研究者など約90人の参加がありました。



平成21年9月26日（土） 「一般向けセミナー」

3日目は「集まれ!理科大好き子〜タンパク質って、すごくない!?〜」と題して、松山市総合コミュニティセンターにおいて、一般向けのセミナーを行いました。本セミナーには、松山市内の中学生をはじめ、タイから招待された高校・大学の教員や研究者4人を含む約150人が参加しました。当センターの林秀則教授、遠藤弥重太教授、坪井敬文教授と杉浦美和准教授が講演を行い、また中学生らは林教授の実験指導の下、無細胞タンパク質合成技術を用いて蛍光タンパク質を合成する実験やブロックリーからDNAを取り出す実験にチャレンジしました。参加者からは、「最先端の科学実験を体験できて面白かった。」「講演も分かりやすく興味深いもので、有意義だった。」などの感想が寄せられました。



プログラム

第7回 無細胞科学松山国際シンポジウム タイムスケジュール

開催日時：平成21年9月24日（木）9：00～18：30
 場所：松山全日空ホテル本館3階ダイヤモンドボールルームA会場
 使用言語：英語（日本語への同時通訳はありません）

時間	プログラム
8:30-9:00	受付
9:00-9:20	遠藤 弥重太（愛媛大学） "Opening Remarks"
9:20-10:00	マイケル オーバーデュイン（英国、バーミンガム大学） "Proteins responsible for Golgi recognition, beta barrel folding and solubilizing nanoparticles"
10:00-10:40	ロバート L. モーリッツ（米国、システム生物学研究所） "Quantitating proteomes"
10:40-10:55	休憩
10:55-11:35	ダグラス ホルツマン（米国、ビル&メリンダ・ゲイツ財団） "Using Science and Technology to Advance Global Health"
11:35-12:15	アンソニー A. ホルダー（英国、MRC国立医学研究所） "Red blood cell invasion by malaria parasites"
12:15-13:40	昼食
13:40-14:20	アラン カウマン（オーストラリア、ウォルター・エリザ・ホール医学研究所） "The export and function of virulence proteins in Plasmodium falciparum-infected human erythrocytes"

14:20-14:40	坪井 敬文（愛媛大学） "Wheat germ cell-free system is a key tool for accelerating the discovery of malaria vaccine candidates"
14:40-15:00	結城 伸泰（新潟病院） "Infection, vaccination and Guillain-Barre syndrome"
15:00-15:15	休憩
15:15-15:55	ブライアン G. フォックス（米国、ウィスコンシン大学マディソン校） "Combinatorial Discovery of Biomass Transformation Enzymes"
15:55-16:35	鈴木 康夫（中部大学） "Highly pathogenic avian H5N1 viruses that acquire human receptor specificity"
16:35-17:15	下遠野 邦忠（千葉工業大学） "Hepatitis C virus hijacks lipid metabolism for its propagation"
17:15-17:25	閉会挨拶
17:25-18:15	ポスターセッション（B会場）
18:30-20:30	Banquet
	南館 2階サファイアルーム

第7回 無細胞科学松山国際シンポジウム タイムスケジュール

開催日時：平成21年9月25日（金） 14:00～16:00
場所：愛媛大学 総合情報メディアセンター

時間	所用時間	詳細
14:00	5分	開会挨拶 愛媛県経済労働部産業支援局長 蘆田和也（※予定）
14:05	10分	講習:「無細胞タンパク質合成について」（仮題） 戸澤 譲（愛媛大学無細胞生命科学工学研究センター 教授）
14:15	30分	講演1:「愛媛が発信するプロテオ医学研究とその医療への展開」（仮題） 能勢 真人（愛媛大学プロテオ医学研究センター長、教授）
14:45	30分	講演2:「無細胞タンパク質合成技術を利用した魚類養殖研究」（仮題） 三浦 猛（愛媛大学 南予水産研究センター 教授）
15:15	20分	講演3: 「無細胞タンパク質合成技術の農業分野への応用に向けた取り組みについて」 栗坂 信之（愛媛県農林水産研究所農業研究部作物育種室長）
15:35	25分	質疑応答
16:00		閉会

一般向けセミナー プログラム

開催日時：平成21年9月26日（土） 13:00～16:00
場所：愛媛大学 総合情報メディアセンター

時間	内容	所用時間	詳細
13:00	開会	10分	愛媛大学長・松山市長 （※予定）
13:10	実験1 ・講演1	25分	林 秀則（愛媛大学無細胞生命科学工学研究センター 教授） 実験1：試験管の中でタンパク質を作ろう！ 講演1：タンパク質を組み立てる
13:35	講演2	25分	遠藤 弥重太（愛媛大学無細胞生命科学工学研究センター長、教授） 講演2：私は何者でしょう？生き物って？ ー神秘的な生命の原理を探ってみようー
14:00	講演3	25分	

			坪井 敬文（愛媛大学無細胞生命科学工学研究センター 教授） 講演3：タンパク質はマラリアを無くす切り札
14:25	休憩	15分	
14:40	実験2 ・ 解説	45分	林 秀則（愛媛大学無細胞生命科学工学研究センター 教授） 実験2：フロッコリーからDNAを取り出そう！ 解説：実験1の解説
15:25	講演4	20分	杉浦 美羽（愛媛大学無細胞生命科学工学研究センター 准教授） 講演4：光合成タンパク質は巨大で複雑
15:45	質疑応答	15分	
16:00	閉会		

組織一覧（2009年）

- 主催** : 愛媛大学, 愛媛県, 松山市, 松山商工会議所
- 協賛** : 大塚製薬株式会社, 株式会社セルフリースサイエンス
大鵬薬品工業株式会社, 株式会社パーキンエルマージャパン
- 運営体** : プロテイン・アイランド・松山（PIM）国際シンポジウム実行委員会
愛媛経済同友会, 愛媛県中小企業団体中央会, 愛媛県中小企業家同友会
- 共催** : 財団法人えひめ産業振興財団, 財団法人松山観光コンベンション協会
NHK松山放送局, 愛媛新聞社
- 後援** : 日本生化学会, 日本化学会, 日本農芸化学会
- 事務局** : プロテイン・アイランド・松山（PIM）国際シンポジウム実行委員会事務局



主 催 : 愛媛大学・愛媛県・松山市・松山商工会議所
運営体 : プロテイン・アイランド・松山 国際シンポジウム実行委員会